

# 当院における感染症対策

太田ネフロクリニック

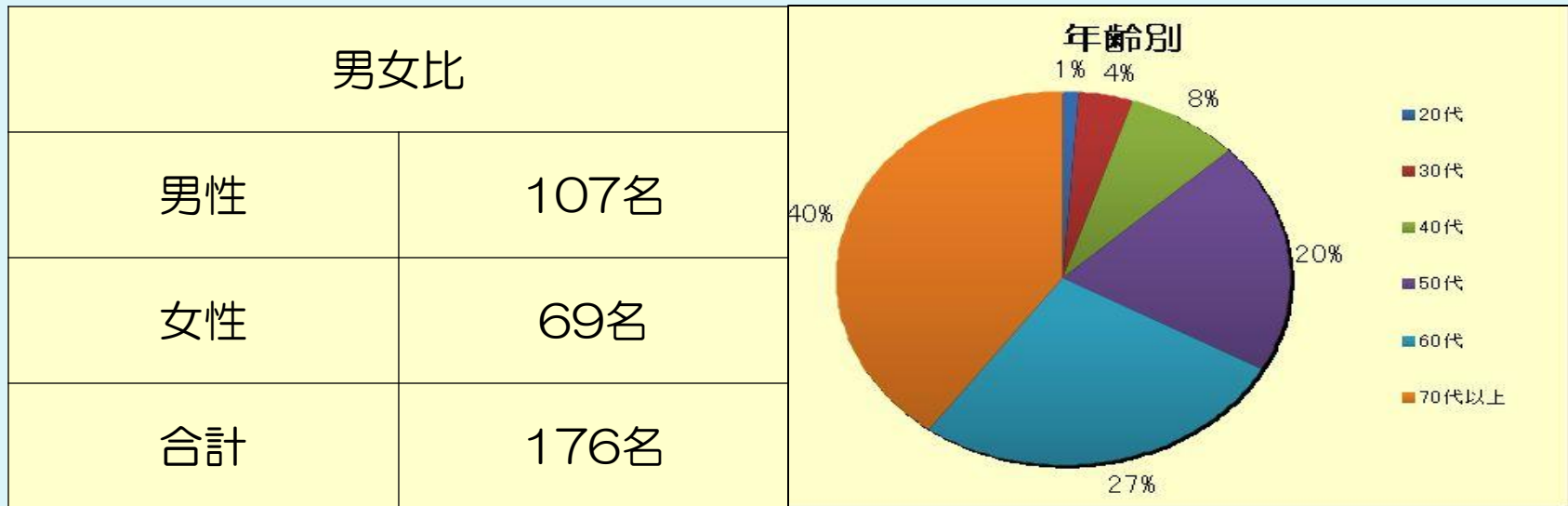
○桑折奈津希 山中祐治 二階堂剛史 酒井伸一郎

## 【はじめに】

- 当院では昨年度、猛威をふるった新型コロナウイルスの発生をゼロに抑える事が出来たので、その対策について報告する

# 【対象】

- 当院の維持透析患者



- 期間：平成21年9月～平成22年4月まで

## 【対策】

- ① 新型インフルエンザ対応マニュアル作成
- ② 院内ならびに送迎バスへポスター掲示
- ③ うがい、手洗い、マスクの徹底  
(患者・患者家族・スタッフ・スタッフ家族)
- ④ 文書による患者指導
- ⑤ ベットサイドでのインフルエンザ検査  
(発熱患者37.5度以上のみ)
- ⑥ 感染コーディネーターの指導

# 【①マニュアル作成】

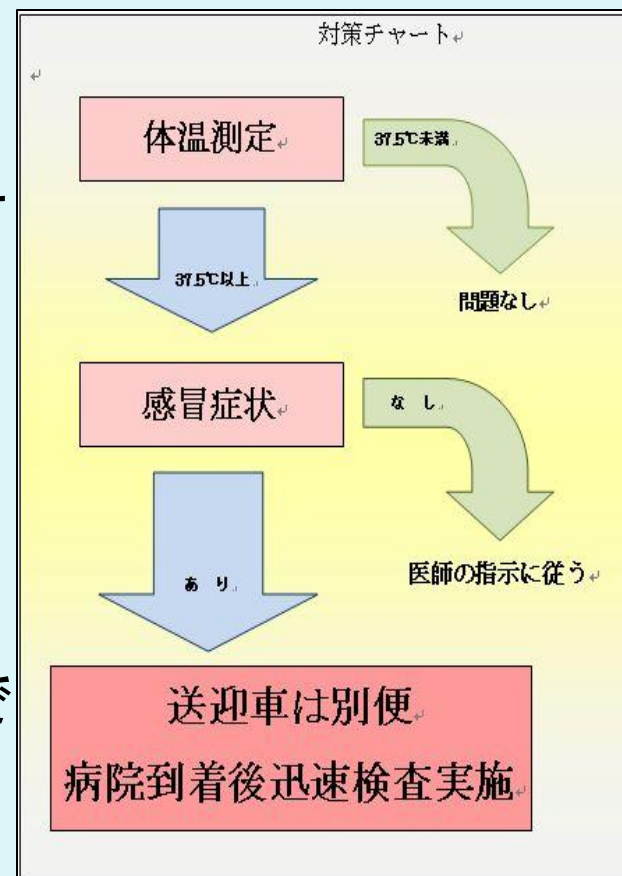
## ● 来院方法の見直し

送迎患者に対しては送迎バスに乗車する前に検温を実施 \* 耳式体温計使用

自家用車で通院する患者に対しては自宅にて検温を実施



37.5度以上の熱があった場合は別便で個別送迎

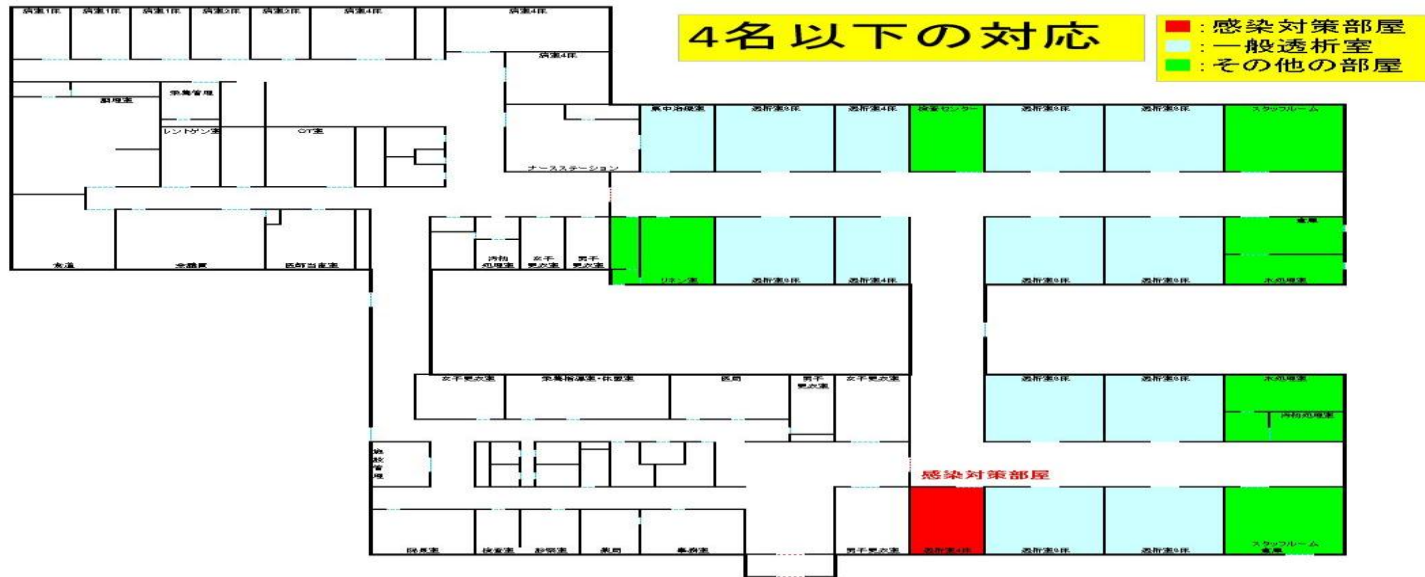


## ● 感染者発生時の対応

当院では一部屋4～8ベットの個室フロアーとなっている  
感染者発生時には感染対策部屋を使用し、他の患者と  
隔離して透析を行う

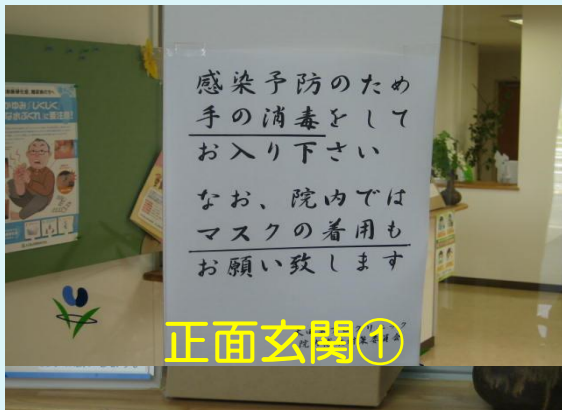


※別紙参照

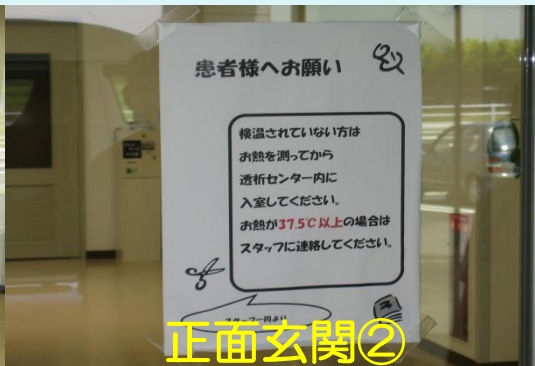


## 【②ポスター掲示】

- 感染予防の意識づけのため、多くの場所にポスター掲示



正面玄関①



正面玄関②



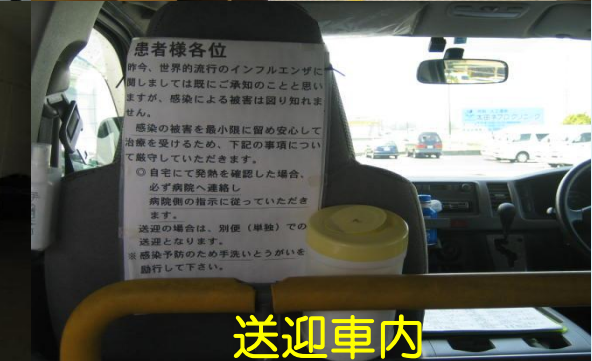
Nsステーション前



受付前



面会者入口



送迎車内



## 【③手洗い・うがい・マスク】

- 1アクション=1手洗いの徹底
- 入室前の手洗い・うがい・マスクの着用  
(患者・スタッフ)



## 【④患者指導】

- 定期的にインフルエンザ流行状況を文書にて配布
- なるべく人ごみを避けるように注意を促す

## 【⑤インフルエンザ抗原検査】

- 通常15分間かかるインフルエンザ抗原検査をベットサイドで迅速に対応できる様に**1分間**で判定できる方法に変更した



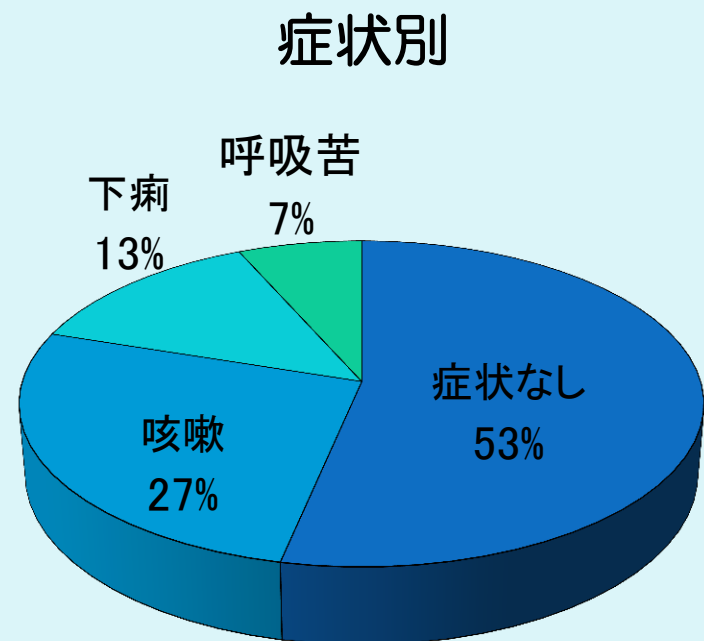
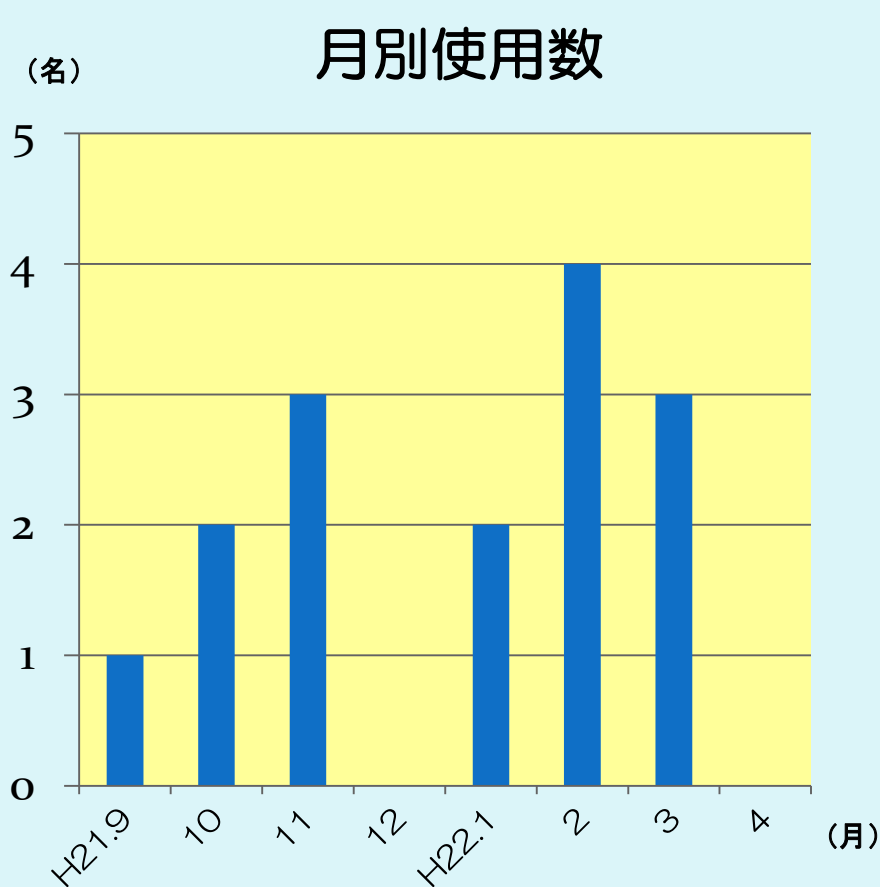
# 【⑥感染コーディネーターからの指導】

竹田先生より以下の指導を受けた

- ◎建物の構造は感染対策に理想的である
- ◎感染を広げない取り組みも評価できる
- ◎誰でも実行可能な感染対策の指導が必要である  
(普段の日常生活で感染する事が考えられる)
- ◎ワクチン接種が重要である
- ◎他のウイルス・微生物に対する対策も重要である  
(見えない敵はインフルエンザ以外もある！！)

※当院では他の感染性疾患対策もマニュアル化してある

# 【感染部屋の使用状況】



\* 一週間の隔離透析  
二日後のインフルエンザ再検査

## 【考察】

- 病院側による徹底した予防対策は、患者ならびにスタッフがインフルエンザに対する予防意識が高まる
- 特に就学生を持つ家庭はインフルエンザの罹患率は高まるので、家族に対しての予防対策は重要となる
- 今後、当院の建物を使用し大規模シミュレーションの計画を行うことにより、さらなる予防対策に努める